

2025年4月期 第3四半期 決算説明会資料

2025年3月14日

株式会社Macbee Planet

証券コード 7095



事業概要

- 「データ」「テクノロジー」「コンサルティング」の掛け合わせによって、クライアントのリスクを最大限抑えた成果報酬型マーケティングを提供



成果報酬型市場の見通し-獲得市場の例-

- 現状、獲得市場における課金体系は固定報酬型や手数料型が主流
- 今後は顧客にとってリスクの低い成果報酬型が急速に拡大

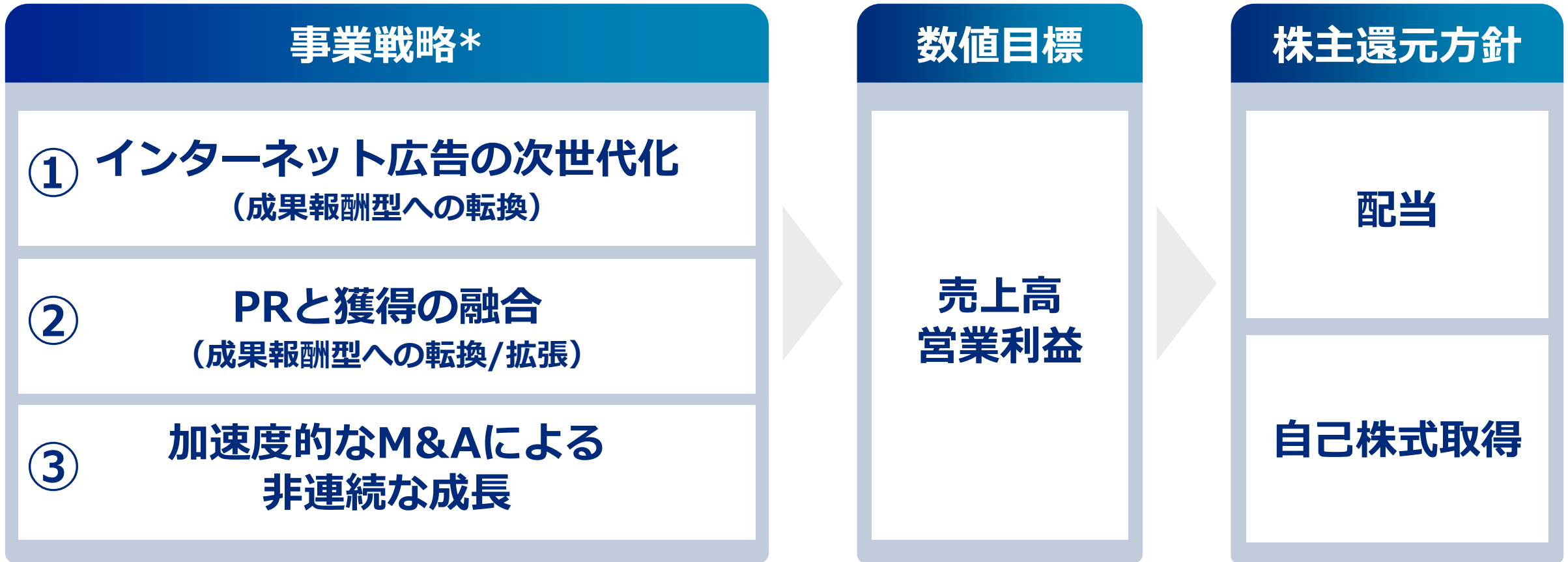


※FY04/2024売上高

出所：2023年はDentsu「日本の広告費」をもとに当社算出。2030年以降の成果報酬型の数値は当社推計

中期経営計画の事業戦略

- 「インターネット広告の次世代化」「PRと獲得の融合」「加速度的なM&A」という三つの事業戦略によりマーケティングの常識をブレイクスルー



*事業戦略に関する詳細は別資料「中期経営計画（2025年4月期～2027年4月期）」を参照

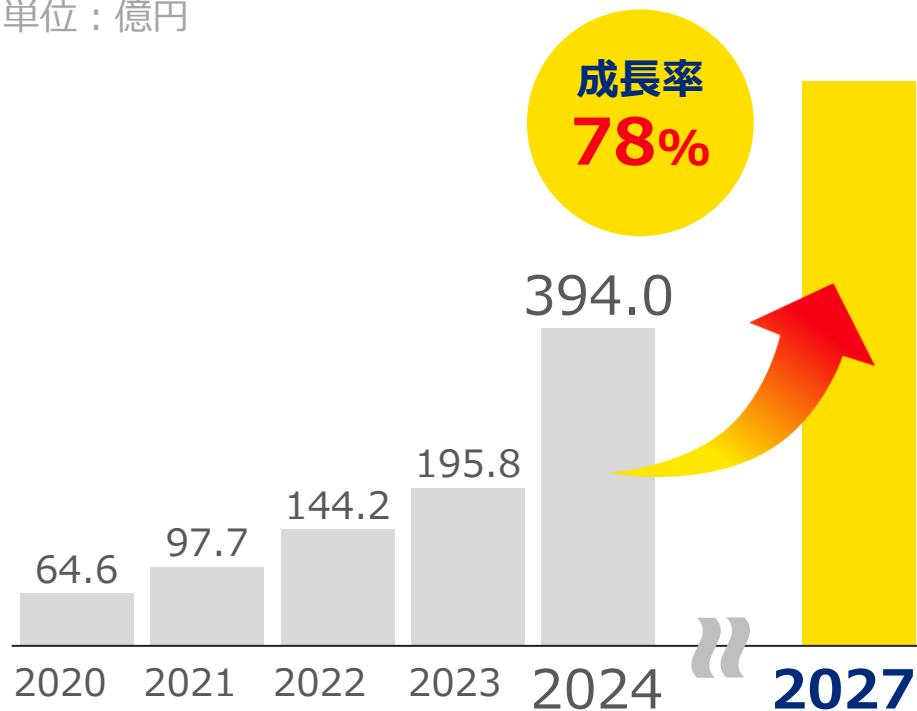
数値目標

■成長を継続し、2027年4月期に売上高700億、営業利益75億を目標として設定

売上高

2027/4期：700.0億円

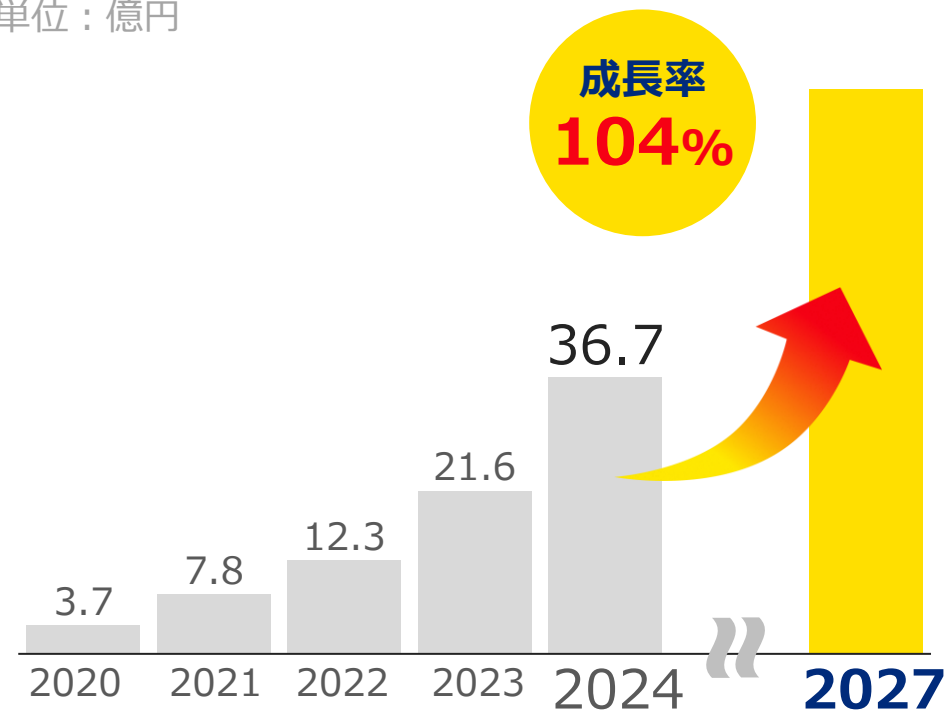
単位：億円



営業利益

2027/4期：75.0億円

単位：億円



※2027年4月期の営業利益は広告宣伝費控除前の数値

2025年4月期 3Q累計ハイライト

■既存案件・新規案件とともに順調に推移し、売上高・利益ともに計画を上回る成長を継続

3Q累計決算ハイライト

(単位：百万円)

FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	増減率
売上高		
29,043	38,381	+32%
EBITDA		
3,554	4,088	+16%
営業利益		
3,189	3,629	+14%
営業利益率		
11.0%	9.5%	▲1.5pt

3Qの取組

売上高



- 医療業界の売上高が計画を大幅超過
- 投資がけん引し、ファイナンスも成長継続
- 人材業界で新規の大型案件がスタート
- その他業界の案件も順調に拡大

利益率



- 医療業界は利益率向上より規模拡大を優先
- 来店型（高利益率）は業界動向を鑑み縮小

利益



- 計画以上の推移
- 貸倒引当金の戻入を0.9億円計上
- 3Qの広告宣伝費は計画より削減し1.3億円

その他



- プライム市場へ鞍替え
- 中期経営計画公表
- 自社株買い実施、通常配当導入
- 会社の認知度向上
(タクシー広告、TV出演、シンポジウム)

2025年4月期業績予想の修正

■売上高の上方修正に加え、レンジでの利益についても見直しに応じて修正

■今期は中期経営計画を上回る成長率を達成見込み

(単位：百万円)	2024年4月期	2025年4月期	
	実績	前回発表予想	今回修正予想
売上高	39,405	48,000	53,000
(前期比)	+101%	+22%	+35%
営業利益	3,670	4,500~5,000	4,700
(前期比)	+70%	+23%~36%	+28%
経常利益	3,668	4,470~4,970	4,630
親会社株主に帰属する当期純利益	2,282	2,720~3,070	2,770
(前期比)	+46%	+19%~35%	+21%
1株当たり当期純利益	158.77円	187.57円~211.70円	195.80円

業績予想を修正する背景

売上高/
粗利率

医療業界を中心に売上高向上も粗利率はクライアントMIXで低下

医療では顧客の広告強化に対して、当社が効率性の担保とユーザー獲得を両立し急拡大を実現

販管費

広告宣伝費の削減、貸倒引当金戻入の計上

☞詳細次ページ

4Q見通し

売上高

3Q対比で成長

ファイナンス/人材業界の拡大を想定

粗利率

3Q対比で微減

今期はクライアントMIXの影響を大きく受けるも来期は今期比で改善予定

販管費

3Q対比で広告宣伝費が増加

4Qは2億円程度を想定（一部調整中）

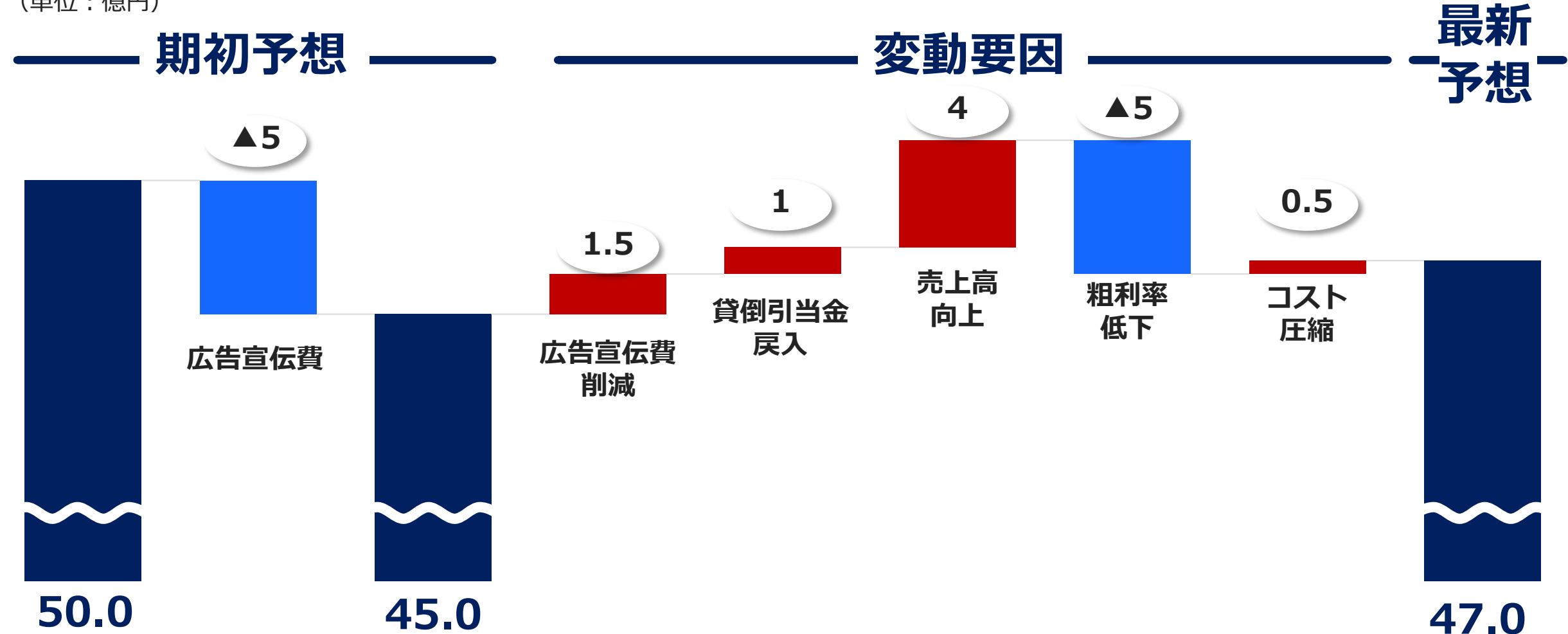
営業利益予想の変動要因

■ 広告宣伝費の削減や貸倒引当金の戻入などを考慮し、営業利益予想を修正

3Q時点の概算値

(単位：億円)

■ 増加要因 ■ 減少要因



マーケティング支援の事例

■成果報酬型マーケティングにより事業の高成長を支援

dip
Labor force solution company

人材
求人サイト
運営会社

約 **1.6倍**

※ 2023年4月～6月と
2024年4月～6月の登録者数を比較

STYLEEDGE

その他
士業向け
コンサル

約 **2倍**

※支援先1社の2019年12月と
2020年12月の獲得件数を比較

メディア露出

■成果報酬型マーケティングに関しては、メディアからの注目度も向上中

2025年3月26日
東洋経済シンポジウム

2025年1月18日
MBS 毎日放送「NEXT JAPAN ～熱き求道者～」

東洋経済シンポジウム

参加費無料(事前登録制)

未来を創るマーケティング戦略と デジタル変革の力 変革を導くトップランナー実践事例から学ぶ



磯和 啓雄 氏
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三井住友フィナンシャルグループ
執行役専務 グループCDIO、
三井住友銀行 専務執行役員

木原 久明 氏
アクセンチュア株式会社
マネジング・ディレクター
Accenture Song執行責任者 兼
コンサルティンググループ 日本統括

千葉 知裕 氏
株式会社Macbee Planet
代表取締役社長

2025年3月26日(水)
15:00 - 16:30
オンライン / ストリーミング配信

NEXT JAPAN

熱き求道者

毎週土曜 午後6時50分

世の中を豊かにする新製品やサービスの裏にある開発者たちの奮闘を、綿密な取材で紹介するドキュメンタリー。開発をめぐる苦労話や、着想のきっかけなどを紐解いていく。

その他 (当社リリースのリンク)

[PIVOT](#)

[日経CNBC「トップに聞く」](#)

[フジテレビ「坂上忍のゴールドラッシュ」](#)

[ITmediaマーケティング](#)

申し込みURL :

<https://toyokeizai.net/sp/sm/macdigital2025/>

国際財務報告基準（IFRS）の任意適用開始について



■グローバルスタンダード適合のため、IFRSの任意適用開始に向けて準備中

◇IFRS任意適用スケジュール（予定）

	2025年4月期	2026年4月期
業績予想	日本基準	IFRS
実績（決算短信）	日本基準※	IFRS
実績（有価証券報告書）	半期：日本基準 通期：IFRS	IFRS

※2025年4月期通期実績は**日本基準**、2026年4月期業績予想は**IFRS**（予定）
2025年4月期決算短信については後日IFRSでも開示（予定）

◇IFRS任意適用による主な影響

	日本基準	IFRS
のれんの定期償却	あり（年間償却額6億円弱）	なし

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性等を含むため、将来の経営成績等の結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社の関連する業界動向等の要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生等があった場合においても、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂等を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当該情報の正確性、適切性等を当社が保証するものではありません。